

岩手県立黒沢尻工業高等学校半導体実習施設整備事業

事業概要書

設計・施工者一括選定方式による公募型プロポーザル資料

令和8年9月

岩手県教育委員会事務局教育企画室

第1 事業の目的

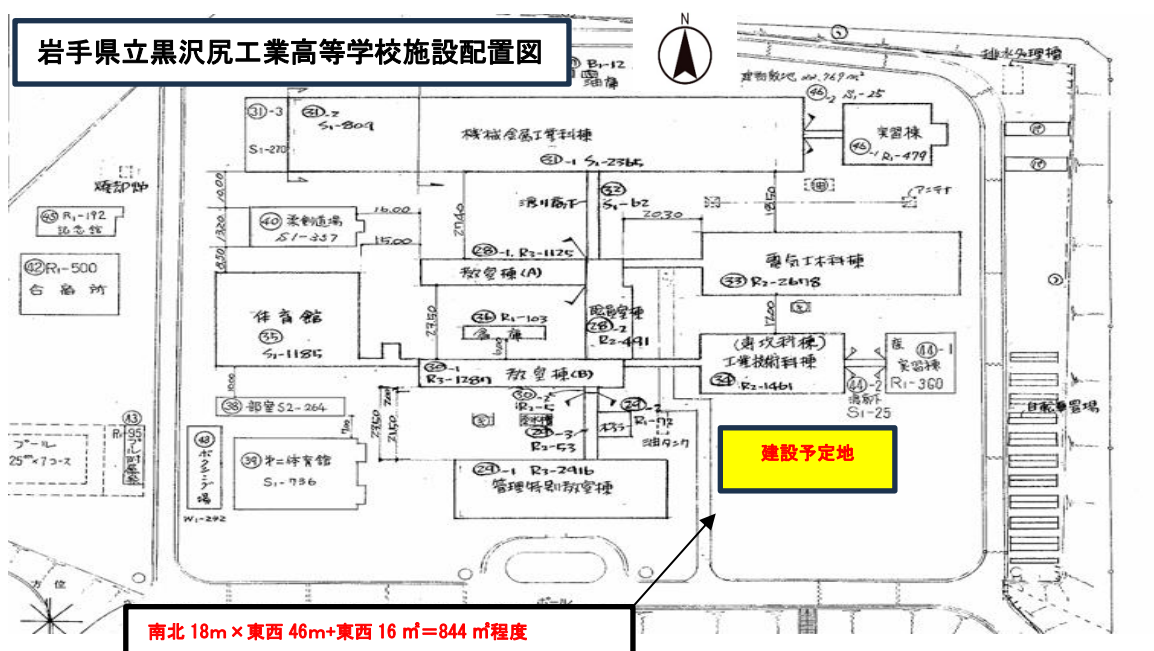
県立高等学校における教育改革を推進し、産業DX教育の先導的な拠点校として岩手県立黒沢尻工業高等学校に半導体教育施設を整備する。

本施設は、半導体の製造工程及び品質管理を体系的に学ぶことができる環境を構築するとともに、他の高校生、小・中学生に学びの機会を提供し、半導体教育の普及と人材育成の裾野の拡大を図ることを目的とする。

第2 施設整備概要

項目	内容
事業名称	岩手県立黒沢尻工業高等学校半導体実習施設整備事業
発注者	岩手県（岩手県教育委員会）
対象校	岩手県立黒沢尻工業高等学校
事業方式	設計・施工者一括選定方式（公募型プロポーザルにより契約候補者を特定）
計画建物	半導体実習施設の新築（建築工事・電気設備工事・機械設備工事）
構造・規模等	鉄筋コンクリート造又は鉄骨造、延べ面積約 1,700 m ² 程度 ZEB Ready 相当以上
主な機能	半導体製造工程の実習環境、座学・見学・交流施設
建設予定地	岩手県北上市村崎野 24 地割 19 番地 岩手県立黒沢尻工業高等学校敷地内
履行期間	①設計業務 令和 8 年 12 月（予定）から令和 9 年 11 月 10 日（予定）まで ②建設工事 仮契約締結日（令和 9 年 11 月（予定））から令和 11 年 3 月末まで ※令和 9 年岩手県議会 12 月定例会において契約締結議案の提案・承認 ③監理業務 令和 9 年 11 月（予定）から令和 11 年 3 月末まで
供用開始	令和 11 年 4 月

第3 建設予定地（施設配置図）



第4 施設整備の基本方針等

(1) 本施設は、県立高校工業科の実習施設として標準以下の仕様で建設する。

ただし、小型半導体製造実習装置を設置する実習室は、クリーンルーム（ISOクラス5ほか）を設けることなど、建築・電気設備・機械設備の仕様が他の諸室と異なるため、当該装置を運用できる環境とする。

なお、小型半導体実習装置は別に発注するため、本プロポーザル対象外（工事費を含む）であるが、設計及び施工の過程において、当該装置の納入予定業者との間で施工の分界等を確認し進めること。生徒の実習机等の備品も別に発注するため同様であること。

(2) 生徒及び教職員が安全かつ円滑に実習でき、視認性、動線、保守管理性に優れた環境を目指す。

第5 予算限度額

本事業における契約額の合計は、委託費及び工事費のそれぞれについて、原則として下表（1）予算限度額に掲げる金額を上限（減額しない）とする。

ただし、工事費は、建設資材等の高騰その他の建設工事費が増加する要因を踏まえ、予算限度額を見直す場合がある。（建築面積の減調整を含む）

(1) 予算限度額

委託費・工事費	R 8	R 9	R 10	計
委託費（設計業務・工事監理業務、地質調査業務）	2,021 万円	5,716 万円	2,547 万円 （予定）	10,284 万円 （予定）
工事費（建築・電気設備・機械設備工事）	-	9,720 万円 （予定）	98,280 万円 （予定）	108,000 万円 （予定）

(2) 他の事業費（本プロポーザル適用外。参考として明示する。）

項 目	事業費
半導体実習装置 購入整備費	16 億 200 万円（予定）
半導体実習装置 設置付帯工事	1 億 300 万円（予定）
教育情報ネットワーク整備（LAN）	1,000 万円（予定）
合 計	17 億 1,500 万円（予定）